



結核という病気を ご存知ですか？



ご存知の方は、結核はもう過去の病気
気と思っていませんか？

実は…、

結核とは、結核菌によっておこる感
染症です。

そして現在でも、

国内で1日に56人の新しい患者が発
生し、6人の方が命を落としている
病気なのです。

和歌山県でも、平成25年の一年間に
202人の新しい患者が発生してい
ます。

結核は過去の病気ではなく今なお、
日本最大の感染症なのです。

《最近の結核の状況》

*高齢者の発病が多い

新規登録患者の半数以上は70歳以上。

和歌山県では70%以上が70歳以上。

*働き盛りの人の発見が遅れる

《高齢者の結核発病の特徴》

*結核を発病しても、せき・たん・発熱等の典
型的な症状が出ないことが多い。

↓発見が遅れがち

重症化することも多い

結核の症状

初期の症状は風邪とよく似ています。

・せきやたんが2週間以上続く

・急に体重が減る

・からだがだるい

・微熱

・食欲不振

など

感染経路

結核は空気感染です。結核菌の混ざったしぶきが、せきやくしゃみと一緒に空気中に飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことによって感染します。ただし、吸い込まれた結核菌の大半は、鼻・のど・気管支などに付着し、そこにある繊毛の働きによって体外に排出されるため感染しませんが、肺まで侵入すると感染します。結核に感染しても必ず発病するわけではなく、通常は免疫力により結核菌の増殖を抑え込みます。増殖を抑えきれなくなると結核を発病



します。

結核の予防

結核の予防には、普段から健康的な生活をこころがけ免疫力を高めておくことが重要です。赤ちゃんは生後5〜8か月以内にBCG接種をしましょう。

結核の治療

合併症や副作用がなければ、3〜4種類の薬を6〜9か月程度、正確に服薬することで治ります。

結核検診をうけましょう

町で行っている胸部レントゲン検査は、40歳以上65歳未満の方は肺がん検診、65歳以上の方は結核検診と肺がん検診となります。特に高齢の方は結核検診・肺がん検診としてぜひ受診してください。



結核検診についてのお問い合わせは

☎64・1120

健康福祉課保健係まで